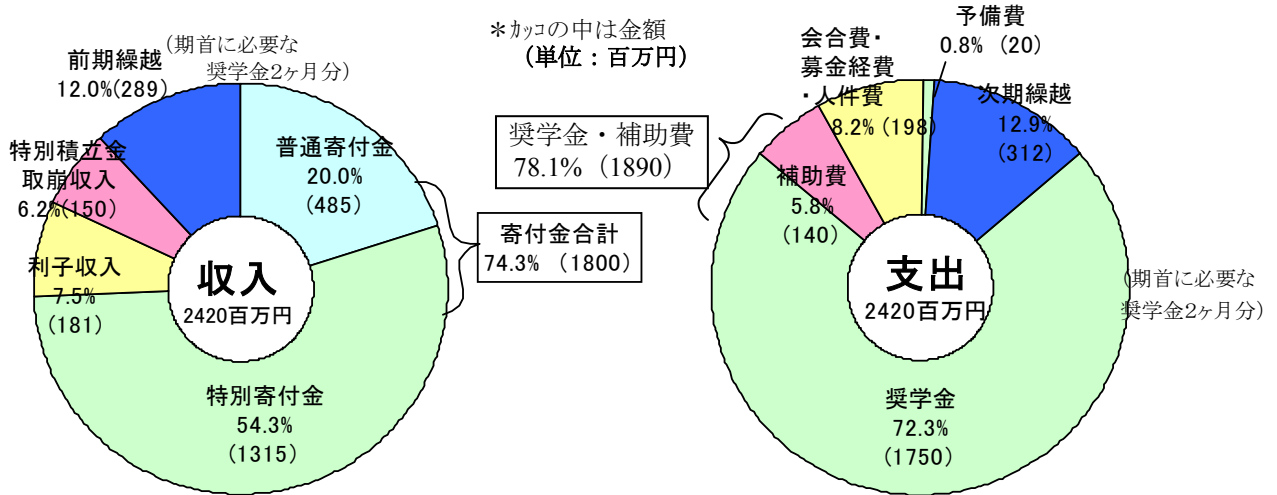


ハイライトよねやま ⑮

(財) ロータリー米山記念奨学会
2001年7月25日発行

寄付金速報

寄付金はこのように使われています
(2001年度予算)

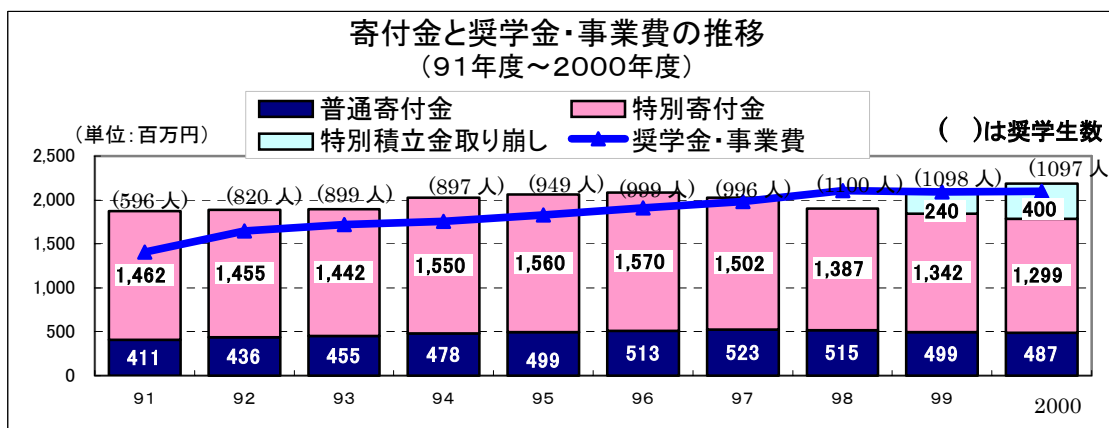


1953年に2名の奨学生から始まった米山奨学事業は、1967年に旧文部省の認可を得て(財)ロータリー米山記念奨学会となりました。この年に受け入れた奨学生数は59名、1970年に103名、1989年に518名、1998年以降は毎年1,100名となるまでに至りました。このように、ロータリアンの皆様のご支援によって米山奨学事業は、民間最大の留学生奨学団体に成長しました。特別積立金は40億円を超え、基本金も50億円となりました。しかし、会員数の減少や長引く不況と厳しい経済環境により、96年度をピークに寄付金は減少を続け、98年度には寄付金が奨学金支給額を下回りました。そして、奨学金をはじめとする奨学事業にかかわる費用を寄付金だけで賄うことは難しくなり、99年度には初めて特別積立金の取崩を行なって不足額に充当しました。過去に積み立ててきた特別積立金が、現在の不足分を補っています。

寄付金は奨学金と事業費に充て、事務管理費は運用果実で賄うことを原則としています。長期化する低金利で運用果実も減少していますが、事務費節減をはじめ、財政の健全化と安定性確保に努めています。

寄付金減少により、1998年度以降1,100名を記録していた奨学生採用数を2001年度は100名減らし、1,000名としました。できるだけ多くの優秀な奨学生たちを支援するために、寄付金の減少をくい止められるよう皆様のご理解とご協力が必要です。

1,000名を奨学するには約20億円が必要です。



*2001年度奨学生数は1,000名